

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 13-1

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	土地情報管理システム導入事業			
評価者	担当課・係名	農業委員会 地籍係		
	課長等	職名	事務局長	作成者
		氏名	石井弘道	氏名
		職名	主事	
		氏名	小泉浩己	
事業の概要	開発されているソフトについては、現在雄武町で使用している「ウィンドウズ 95」には対応できないことから、地籍管理システムを今後も活用することに伴い、時代に対応できる新しい機種(ソフトを含む)の更新を図るものです。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業	
	政策目標			
	基本政策			
	単 位 施 策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	210千円	838千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	210千円	838千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	土地管理	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	時代に即応したソフトを含む機種が開発され、現在使用している機種では、対応できない。										
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	地籍管理システムを今後も活用するに伴い、時代に対応できる土地の管理		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	業務に支障の生じることなく、土地に関する様々な情報を管理できる。		①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①業者よりリース	サーバー、無停電電源装置、ソフトウェア等をリース方式により60ヶ月、長期継続契約により賃借する。										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	時代に即応したソフトを含む機種が開発され、現在、使用している機種では、開発されているソフトには対応できないことから、土地管理システムを今後も活用することに伴い、新しい機種・ソフトの更新を図る。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	土地に関わる様々な筆図形、筆界点、など各種の情報をパソコンで管理し、その土地の異動等による修正が可能となる。
有効／概ね有効／課題あり		

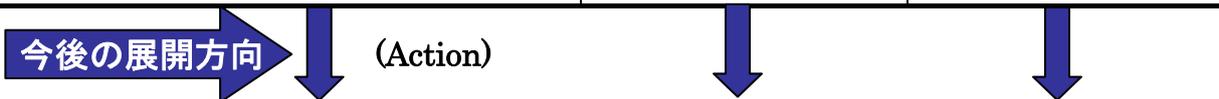
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	土地に関わる様々な筆図形、筆属性、筆界未定、筆界点、図根点等各種の情報を一元管理し、土地異動等による修正が日常業務で行える等、コストに見合ったものと判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
各種の情報を一元管理するもので、土地行政に関わる業務を支援するものと判断する。		



継続 / 現状維持		
各種の情報を一元管理するもので、土地行政に関わる業務を支援するものと判断する。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項